

- 問1 三陸海岸沿いの統計資料を確認すると、年間2.5万吨以上の水揚げ量がある主要な漁港が複数点在していることがわかります。このように、この海域で漁業が非常に盛んである理由について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. リマン海流の影響で冬場の水温が極端に下がり、特定の高級魚種だけが集中的に生息する環境になるため。
  2. 北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。
  3. 日本海側を北上する対馬海流が三陸海岸まで流れ込み、一年を通じて水温が高い状態が保たれるため。
  4. 大陸棚が広大に広がっているため、日光が海底まで届きやすく、海草を食べる魚類が大量に繁殖するため。
- 問2 高速道路沿いに整備された工業団地には、輸送しやすく付加価値が高い製品を製造する工場が多く立地する傾向があります。東北地方において、高速道路沿いにこの種類の工場が多く集まっていることから「シリコンロード」とも呼ばれますが、そこで主に生産されている製品はどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 石油化学製品
  2. 鉄鋼
  3. 半導体（集積回路）
  4. セメント
- 問3 日本の東北地方では、夏にオホーツク海高気圧の影響で北東から冷たく湿った風が吹き込み、気温が上がらないことがあります。1993年の記録的な冷害の主な原因ともなった、この風の名称として適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 季節風（冬のモンスーン）
  2. 偏西風
  3. フェーン現象
  4. やませ
- 問4 日本の都道府県における年齢別人口構成の変化について述べた文として、正しいものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高かった。
  2. 2020年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高くなっている。
  3. 2020年時点では東京都などの大都市の方が、青森県などの地方県よりも高齢化率が高くなっている。
  4. 1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも65歳以上人口の割合が高かった。
- 問5 日本の太平洋沖などで見られる、南から北上する暖流と北から南下する寒流がぶつかり合う海域を何というか。この海域はプランクトンが豊富で、多くの魚が集まる良質な漁場となっている。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 潮境（潮目）
  2. 大陸棚
  3. 扇状地
  4. 海溝
- 問6 東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（X）を利用した（Y）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. X：農閑期 Y：商業
  2. X：農繁期 Y：工業
  3. X：農繁期 Y：副業
  4. X：農閑期 Y：副業
- 問7 東北地方の太平洋側において、夏に「やませ」が長期間吹き続けた際に発生する、農業への具体的な影響と背景の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 太平洋側に乾燥した熱風をもたらし、干ばつによって農作物を枯れさせる。
  2. 海からの暖かい湿った空気をもたらし、稲の成長を促進させて豊作をもたらす。
  3. 強い風によって稲が倒伏し、収穫直前の農作物に物理的な被害を与える。
  4. 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。
- 問8 日本の都道府県別の統計において、漁業生産量と果実産出額の両方が全国上位五位以内に入っている、農林水産業が非常に盛んな県はどこですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 青森県
  2. 秋田県
  3. 山形県
  4. 福島県
- 問9 東北地方における各都市の気候の差異について述べた次の説明のうち、太平洋側に位置する仙台市の状況を正しく示しているものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 日本海を渡る湿った季節風が直接吹き込むため、一月の平均気温が零度前後となり、冬に大量の雪が降る。
  2. 季節風の影響をほとんど受けない盆地特有の気候であり、夏は非常に高温になる一方、冬は氷点下まで冷え込み、降水量は年間を通して一定である。
  3. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。
  4. 北からの寒流である親潮の影響を強く受け、一月の平均気温が零度を大きく下回り、夏も二十度を越えない日が続く。
- 問10 東北地方の各県を比較した統計において、人口増減率がマイナス0.6%以上という、地域内で最も減少が緩やかな区分に属し、かつ製造品出荷額が東北地方全体の合計値（約17兆5260億円）の約25%にあたる約4兆3805億円を占めている県はどこですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 岩手県
  2. 福島県
  3. 青森県
  4. 宮城県
- 問11 山形県の内陸部に位置する盆地において、さくらんぼなどの果樹栽培が盛んに行われている理由として、自然環境の特色を説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 冬の降雪量が非常に多く、年間を通じて豊富な地下水が果樹の成長を支えているため。
  2. 盆地特有の気候により、夏の昼と夜の気温差が大きく、果実の糖度が高まりやすいため。
  3. 最上川が運ぶ肥沃な土砂が堆積した平坦な地形で、大規模な機械による自動化が容易なため。
  4. 「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東風の影響により、夏でも気温が上がらず冷涼であるため。
- 問12 日本列島の東側、千島列島に沿って東北地方の太平洋沿岸を南下する海流は、プランクトンが豊富で魚を育てる「親」のような役割を果たすことから何と呼ばれますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 親潮
  2. 黒潮
  3. リマン海流
  4. 対馬海流
- 問13 東北地方の中央部を南北に貫くように走り、日本最大級の長さを誇る山脈の名前を答えなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 北上高地
  2. 出羽山地
  3. 越後山脈
  4. 奥羽山脈
- 問14 東北地方の工業に関する統計において、製造品出荷額の構成比を確認すると、金属工業が21.3%、化学工業が16.4%であるのに対し、約4割にあたる39.9%を占めて最大となっている産業部門を選択してください。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 繊維工業
  2. 食料品工業
  3. パルプ・紙工業
  4. 機械工業

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                  |                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>北からの寒流である千島海流と南からの暖流である日本海流がぶつかり、プランクトンが豊富な潮目が形成されるため。   | 三陸海岸の沖合は、寒流（千島海流）と暖流（日本海流）がぶつかり合う「潮目（潮境）」となっています。潮目では、両方の海流に乗ってきた多種多様な魚が集まるだけでなく、海水がかき混ぜられることでプランクトンが大量に発生するため、絶好の漁場となります。その結果、周辺の漁港では非常に多くの水揚げ量が記録されます。                        |
| 問2  | 答え 3<br>半導体（集積回路）                                                | 半導体や電子部品は、小型で軽量なわりに価格が高い（軽量高付加価値）ため、輸送コストの影響を受けにくく、トラックや航空機での輸送に適しています。また、東北地方はきれいな水や空気が豊富で、精密機械の洗浄などに適していることも集積の理由の一つです。鉄鋼や石油化学製品は、原料を海外から大量に輸入する必要があるため、内陸部ではなく臨海部に工場が立地します。  |
| 問3  | 答え 4<br>やませ                                                      | オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な気流が、北東の風となって東北地方の太平洋側に流れ込む現象を「やませ」と呼びます。この風は湿気が多く低温であるため、発生すると霧や曇天が続き、農作物の生育に深刻な影響を与えます。                                                                      |
| 問4  | 答え 1<br>1970年時点では青森県などの地方県の方が、東京都などの大都市よりも15歳未満人口の割合が高かった。       | 1970年時点の人口構成では、青森県などの地方県は東京都などの大都市と比べて15歳未満人口の割合が高い状況でした。その後、若者の都市部への流出や少子化の影響を受け、2020年時点では地方県の方が高齢化率（65歳以上人口の割合）が高くなっています。                                                     |
| 問5  | 答え 1<br>潮境（潮目）                                                   | 暖流と寒流がぶつかる場所では、海水がかき混ざることで下層の栄養分が海面近くに上昇し、植物プランクトンが多く発生します。そのため、これらを餌とする魚が集まりやすく、好漁場が形成されます。誤答の「大陸棚」は水深200m程度までの平坦な海底地形、「海溝」は深く切れ込んだ海底地形を指します。                                  |
| 問6  | 答え 4<br>X：農閑期 Y：副業                                               | 冬の積雪により農業を休まなければならない時期を「農閑期」と言います。この期間に現金収入を得るために行われた仕事が「副業」です。東北地方の伝統的工芸品の多くは、厳しい自然環境の中で、生活を支えるための知恵として育まれてきました。対義語である「農繁期」は、田植えや稲刈りなどの農作業が忙しい時期を指します。                         |
| 問7  | 答え 4<br>日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。                          | やませは低温で湿った風であるため、厚い雲や霧を伴います。これにより、稲の成長に必要な日照時間と気温が不足し、開花や結実が不十分になる「冷害」を引き起こします。1993年にはこの影響で記録的な米不足となり、海外から緊急に米を輸入する事態となりました。                                                    |
| 問8  | 答え 1<br>青森県                                                      | 青森県は、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした漁業と、冷涼な気候を利用したリンゴなどの果樹栽培の双方が全国トップクラスの規模を誇っています。統計上、漁業生産量と果実産出額の双方が全国トップ5に入るといって、一次産業において極めてバランスの取れた高い生産力を持つことが特徴です。                                     |
| 問9  | 答え 3<br>冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。 | 日本の冬は北西から季節風が吹きますが、東北地方の中央を走る奥羽山脈が壁の役割を果たします。湿った空気は日本海側に雪を降らせた後、山脈を越えて太平洋側へ抜ける際には乾燥した風となります。このため、仙台市を含む太平洋側では冬の降水量が少なくなり、日照時間が長くなるという因果関係があります。これが、日本海側の秋田市などと対照的な雨温図の形を作る要因です。 |
| 問10 | 答え 4<br>宮城県                                                      | 宮城県は、東北地方の中で人口減少率が最も低く、県庁所在地の仙台市を中心に人口が集中する傾向があります。また、工業面でも東北全体の製造品出荷額の約4分の1を占めるなど、同地方における経済や産業の中心的な役割を担っています。                                                                  |
| 問11 | 答え 2<br>盆地特有の気候により、夏の昼と夜の気温差が大きく、果実の糖度が高まりやすいため。                 | 山形県の内陸にある盆地では、周囲を山に囲まれているため、夏の日中は熱がこもりやすく高温になりますが、夜間は放射冷却の影響で気温が下がります。この昼夜の寒暖差が、植物が光合成で作った栄養分を効率よく糖分として蓄える働きを助けるため、甘くて質の高い果実が育ちます。なお、「やませ」の影響を強く受けるのは主に太平洋側（岩手県や青森県など）の地域です。    |
| 問12 | 答え 1<br>親潮                                                       | 千島列島から流れてくるため「千島海流」とも呼ばれます。栄養分が豊富な「寒流」であり、日本の東側で暖流の黒潮とぶつかることで、世界的な漁場を形成しています。                                                                                                   |
| 問13 | 答え 4<br>奥羽山脈                                                     | 東北地方の「背骨」とも呼ばれるこの山脈は、青森県から栃木県付近まで約500kmにわたって続く日本最長の山脈です。この山脈が地域の中心を縦断していることで、東北地方は日本海側と太平洋側の二つの地域に大きく分けられています。                                                                  |
| 問14 | 答え 4<br>機械工業                                                     | 東北地方では、高速道路網（東北自動車道など）の整備が進んだことにより、IC（インターチェンジ）付近を中心に自動車や電子部品の工場進出が相次ぎました。その結果、従来の地場産業や食料品工業に代わって、輸送用機械や電子機械などの機械工業が製造品出荷額の中で最も大きな割合を占めるようになっていきます。                             |